

荻窪ユース・アンサンブル コンサート

未来に羽ばたく音楽性豊かな若者たちが
優れたプロの演奏家のサポートを得て素晴らしい演奏を繰り広げます

指揮
後藤悠仁

Conductor:
Yuji GOTO

OYEメンバー

OGIKUBO YOUTH ENSEMBLE MEMBERS

ヴァイオリン
尼留奏
石原沙嗣
上原遥華
栗原佑熙
前谷研成
水島あかり
水島隆也
宮澤理奈子
米元樹
ヴィオラ
宮澤隆一郎

Violin:
Kana AMADOME
Sasane ISHIHARA
Haruka UEHARA
Yuki KURIHARA
Kensei MAETANI
Akari MIZUSHIMA
Takaya MIZUSHIMA
Rinako MIYAZAWA
Itsuki YONEMOTO
Viola:
Ryuichiro MIYAZAWA

サポートメンバー

ヴァイオリン
岩根愛 (ソロ)
尾池亜美 (ソロ)
對馬佳祐
松本克巳
ヴィオラ
青木紀子
荒田大樹※
チェロ
和泉景子
松谷壮一郎※
コントラバス
田沢烈

SUPPORTING MEMBERS

Violin:
Ai IWANE (Solo)
Ami OIKE (solo)
Keisuke TSUSHIMA
Katsumi MATSUMOTO
Viola:
Noriko AOKI
Daiki ARATA*
Cello:
Keiko IZUMI
Soichiro MATSUTANI*
Contrabass:
Takeshi TAZAWA

※ゲスト

P.I.チャイコフスキー：弦楽セレナード ハ長調 op.48
J.S.バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043
W.A.モーツァルト：セレナード第13番 ト長調 K.525「アイネ クライネ ナハトムジーク」

2022年

11月5日(土)18:30(開場18:00) 杉並公会堂 大ホール

●事前予約制 ●お申し込み：荻窪音楽祭ウェブサイト「申込フォーム」より

※席数に限りがあるため満席になり次第、予約受付を終了する場合がございます。予めご了承ください。

OGIKUBO
M·U·S·I·C
FESTIVAL
第35回
荻窪音楽祭

The 5th
Ogikubo
Youth
Ensemble
Concert

ライブ配信あります



ongakusai.com

入場無料
[全自由席]

主催：「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会

共催：杉並公会堂(株式会社京王設備サービス)、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

後援：杉並区、杉並区教育委員会、南相馬市、南相馬市教育委員会、公益社団法人荻窪法人会、東京商工会議所杉並支部、杉並ライオンズクラブ
荻窪音楽祭事務局：〒167-0051 杉並区荻窪5-18-14 (株)興建社内 ☎03-5347-0244(月～金・10:00～17:00) ✉info@ongakusai.com



●事情により企画・コンサートの中止、または出演者や曲目など内容を変更する場合があります。予めご了承ください。●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当会が作成した「新型コロナウイルス感染予防策等について」ガイドライン(ウェブサイトにて公開)に沿って運営・対策いたします。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

荻窪ユース・アンサンブル(OYE)は、これまでに荻窪音楽祭のフレッシュジュニア・コンサート(FJC)に出演したことがある子供達を中心にプロの演奏家のサポートを得て編成された合奏団です。

サポートメンバー プロフィール



©小谷野菜月

後藤 悠仁
(指揮・指導)

東京藝術大学を経て、1986年同大学院を修了。1985年6月、日本フィルハーモニー交響楽団に入団。2009年までヴィオラの首席奏者を務める。1993年、京都・北海道にてリサイタルを開催、好評を得る。2001年東京オペラシティを皮切りに、トッパンホールを経て、2004年より王子ホールにて毎年リサイタルを開催。2015年4月、日本フィルハーモニー交響楽団の常務理事に就任するとともに、ソロ活動を本格的に開始。ヴィオラ奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演、イリス弦楽四重奏団での室内楽等、各地で幅広い演奏活動を行っている。また、指揮者・トレーナーとしてもアマチュアオーケストラの指導など、精力的に活動している。ヴィオラを中塚良昭、故ウルリッヒ・コッホ、室内楽を故黒沼俊夫、原田幸一郎、故ゲルハルト・ボッセの各氏に師事。指揮を広上淳一氏に師事。現在、東京音楽大学指揮科特別アドバイザーも務める。



尾池 亜美
(ヴァイオリン・指導)

ソリスト、室内楽奏者として東京を拠点に活動中のヴァイオリニスト。クラシックのレパートリーのみならず新しい音楽が生まれる現場にも精力的に関わり、宇多田ヒカル、米津玄師、高橋悠治らの作品制作や演奏に携わる。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール、日本音楽コンクール、RNCMマンチェスター国際ヴァイオリンコンクールにて優勝。カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール第2位他、国内外で受賞。東京藝術大学音楽学部講師として後進の指導に当たる。紀尾井ホール室内管弦楽団、アミティ・カルテット、Ensemble FOVEメンバー。3才より叔母山下真澄の手ほどきによりヴァイオリンを始める。父の転勤に伴いスイスに2年間に在り、ハビブ・カヤレイ氏に師事。帰国後、石井志都子氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属高校を経て、同大学を卒業後、渡欧。ローム・ミュージック・ファンデーション、明治安田クオリティ・オブ・ライフ奨学生としてスイス、イギリス、オーストリアにて研鑽を積む。これまでに澤和樹、ジェラルド・ブーレ、オレグ・クリサ、ピエール・アモイヤル、ヤイル・クレスの各氏に師事。
www.amioike.art



岩根 愛
(ヴァイオリン)

桐朋女子高等学校音楽科を卒業し、桐朋学園大学カレッジ・ディプロマコースを経て、ハンガリーへ留学。国立リスト音楽院パートタイムスチューデント修了。帰国後は2012年よりピアノとの室内楽作品を中心に、リサイタルを定期的に開催。2015年に荻窪の城西病院ホスピタリティコンサート、2018年に荻窪音楽祭第7回春の交流コンサートに出演。2020年には荻窪祝祭管弦楽団第9回定期演奏会にて、ソリストとしてシベリウスのヴァイオリン協奏曲を演奏した。2017年よりOYEのサポートプレイヤーとして子供達を指導、一緒に演奏を披露している。これまでに上西玲子、和波孝禧、土屋美享子、カパーシュ・ゲーザの各氏に師事。



對馬 佳祐
(ヴァイオリン)

東京都出身。東京藝術大学を経てパリ国立高等音楽院を首席で卒業、同音楽院修士課程室内楽科を首席で修了。第8回江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位。2016年ルーマニア国際音楽コンクールにて総合グランプリ受賞。これまでに玉井菜保、田中千香士、G rard Poulet、Boris Garlitskyの各氏に師事。



©金瀬祥

松本 克巳
(ヴァイオリン)

山口県宇部市生まれ。大阪府立池田高等学校卒業。関西学院大学理学部遺伝子学専攻。卒業後、高校の理科教師を経て1980年日本フィルハーモニー交響楽団に入団、第1ヴァイオリン奏者を務める。入団以来意欲的にを行っているソロや室内楽の演奏活動は年数十回におよび、コンサートホールだけに留まらない裾野の広い丹念な演奏活動は高く評価されている。洋楽器と邦楽器を組み合わせた珍しい演奏会も各地で行い、好評を博す。2000年、日本フィル在籍20年という節目を機にカザルスホールにてリサイタルを開催、その後は東京文化会館、横浜みなとみらいホール、白寿ホールにてリサイタルを行い、好評を得る。故横山莞五、石井啓一郎各氏に師事。現在は日本フィル「音楽の森」スタッフ。



青木 紀子
(ヴィオラ)

4歳よりヴァイオリン、19歳よりヴィオラを始める。桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了。日本クラシック音楽コンクール弦楽器部門第3位及び優秀賞。スイスアカデミー・ドゥ・ミュージック、ベルン音楽院マスタークラス受講。パブロ・カザルス音楽祭に参加。京都国際音楽学生フェスティバルにソロ、室内楽で出演。他にも、数々の国内外の音楽祭に参加。ブルーノ・パスキエ、白尾偕子、江戸純子の各氏に師事。室内楽をH.ビュイグ・ロジェ氏に師事。桐朋学園芸術短期大学委託演奏員、和波孝禧氏率いるいずみこうフェスティバルオーケストラメンバーなどフリー奏者として活動している。



 Ayane Shindo

和泉 景子
(チェロ)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を卒業。第6回和泉の森ジュニアチェロコンクール銅賞。京都フランスアカデミー、霧島国際音楽祭、クールシュベール夏期国際アカデミー、リスト音楽院セミナー等に参加し、マスタークラスを受講。トリトン・アーツ・ネットワーク主催アドヴェントセミナー、室内楽アウトリーチセミナーを受講。現在はオーケストラ、室内楽等の演奏会へ出演する他、後進の指導を行う。これまでにチェロを渋谷陽子、高橋純子、宮城健、山崎伸子の各氏に師事。



田沢 烈
(コントラバス)

元日本フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者。日上市生まれ。東京藝術大学卒。今村清一、永島義男氏に師事。藝大在学中に日本フィルに入団。首席奏者を務める。現在、尚美学園大学講師。